

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-38	高等学校	商業	原価計算	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 720	原価計算		

1. 編修の基本方針

- ① 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、学習事項に関連する内容の会計処理方法を紹介する囲み記事や学習した内容の確実な理解を図ることを目的とした囲み記事等を掲載している。
- ② 自主及び自立の精神を養う観点から、章末に練習問題を掲載し、自学自習に役立つよう配慮している。また、巻末には自学自習の手助けとなるよう重要事項のまとめも設けている。
- ③ 学習要素や例題の解説などではイラストや図解を用い、学習者が具体的にイメージしやすいよう配慮している。
- ④ 正義と責任を重んずるという観点から、原価計算基準とその役割を記述している。また、巻末には原価計算基準の抜粋も掲載している。
- ⑤ 職業及び生活との関連という観点から、製造現場をイメージできるよう写真やイラスト等を数多く用いて記述している。

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
「まえがき」以下、本書全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統と文化を尊重し、国際社会の発展に寄与するという観点から、簿記が歴史的技術であることにふれ、本書で学ぶ原価計算が製造業を中心とした多くの企業の経営活動を支えていることを紹介している（第5号）。 	<p>p. 2～3</p> <p>p. 7～253</p>
第1編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い知識と教養を身に付ける観点から、原価計算に関する基礎的な内容を記述した（第1号）。 ・ 自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている（第4号）。 ・ 男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるという観点から、協力して登山を行う内容を掲載した（第3号）。 ・ 職業及び生活との関連を重視するという観点から、大型ヨットと遊覧ボートを例に原価計算の概要を説明している（第2号）。 	<p>p. 7～46</p> <p>p. 7</p> <p>p. 7</p> <p>p. 16～17</p>

第2編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、費目別計算に関する基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている(第4号)。 ・男女の平等, 自他の敬愛と協力を重んずるという観点から, 協力して登山を行う内容を掲載した(第3号)。 	<p>p. 47～88</p> <p>p. 47</p> <p>p. 47</p>
第3編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、原価の部門別計算と製品別計算に関する基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている(第4号)。 ・男女の平等, 自他の敬愛と協力を重んずるという観点から, 協力して登山を行う内容を掲載した(第3号)。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から, 工場の製造現場がイメージできるようなイラスト等を掲載している(第2号)。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から, 製品として扱う題材や例示を身近なものとしている(第2号)。 	<p>p. 89～184</p> <p>p. 89</p> <p>p. 89</p> <p>p. 91 , p. 111 , p. 119 , p. 164 , p. 174</p> <p>p. 109～110 p. 138, p. 152, p. 155, p. 181</p>
第4編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、製品の完成と販売に関する記帳について基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている(第4号)。 ・男女の平等, 自他の敬愛と協力を重んずるという観点から, 協力して登山を行う内容を掲載した(第3号)。 ・職業及び生活との関連を重視するという観点から, 完成した製品の例を身近なものとしている(第2号)。 	<p>p. 185～202</p> <p>p. 185</p> <p>p. 185</p> <p>p. 186～187</p>
第5編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、標準原価計算に関する基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている(第4号)。 ・男女の平等, 自他の敬愛と協力を重んずるという観点から, 協力して登山を行う内容を掲載した(第3号)。 ・真理を求める態度を養うという観点から, 発生した原価差異がどのような理由から発生し, どのように改善できるかについても記述している(第1号)。 	<p>p. 203～236</p> <p>p. 203</p> <p>p. 203</p> <p>p. 215, 217, 220</p>

第6編	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、直接原価計算に関する基礎的な内容を記述した(第1号)。 ・自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から登山をイメージした内容を扱っている(第4号)。 ・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるという観点から、協力して登山を行う内容を掲載した(第3号)。 ・幅広い知識と教養を身に付ける観点から、「原価予測の方法」、「損益分岐点比率と安全余裕率」を発展学習として掲載した(第1号)。 	<p>p. 237～251</p> <p>p. 237</p> <p>p. 237</p> <p>p. 251～253</p>
記帳練習例題	<ul style="list-style-type: none"> ・自主及び自立の精神を養う観点から、記帳例題を掲載し、自学自習に役立つよう配慮している(第2号)。 	<p>p. 254～264</p>
重要事項のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自主及び自立の精神を養う観点から、学習してきた重要事項のまとめを掲載し、自学自習に役立つよう配慮している(第2号)。 	<p>p. 265～271</p>
ADVANCE	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うという観点から、対話形式の文章や調べ学習を通じて積極的・能動的な学習ができるADVANCEを設けた(第2号)。 	<p>p. 272～279</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ① 豊かな人間性，創造性を養うという観点から，全編カラーページとし，視覚的な学習効果をはかった。また，UD フォントを用いて，すべての学習者が使いやすいように配慮している。
- ② 一般的な教養を高め，専門的な知識，技術及び技能を習得するとい観点から，工業簿記，原価の費目別計算，原価の部門別計算と製品別計算，製造業の原価管理に役立つ標準原価計算，さらに，利益計画に役立つ直接原価計算まで丁寧に記述している。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-38	高等学校	商業	原価計算	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 720	原価計算		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

本書は、「原価計算」を履修する学習者のために、製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ、原価情報を活用する能力を育成することを目的として編修した。この目的を効率よく達成できるようにするため、以下の点に配慮している。

- (1) 全体を「第1編 原価計算の基礎」、「第2編 原価の費目別計算」、「第3編 原価の部門別計算と製品別計算」、「第4編 製品の完成・販売と決算」、「第5編 標準原価計算の基礎」、「第6編 直接原価計算の基礎」に分けて、編ごとにまとまりのある学習ができるようにした。
- (2) 第1編の「第3章 工業簿記」では、総論としての基本的事項を学習するという点から、仕掛品勘定と製造間接費勘定を用いる個別原価計算の記帳手続きの例示を取り扱った。
- (3) 生徒の間違いやすい箇所については、ていねいにわかりやすく記述するとともに、必要に応じて、仕訳上の注意、計算上の注意などの囲み記事を設けた。
- (4) 図解を多く用いて、記帳手続きの流れや学習事項の相互関係などを視覚的に理解できるよう配慮した。
- (5) 例題を豊富に掲げ、練習問題を各章末に、記帳練習例題を巻末に設けた。これにより、製造業における記帳について習熟できるように構成した。
- (6) 自学自習に役立つよう、勘定の振り替え関係や図解、計算式等をまとめた「重要事項のまとめ」を設けた。
- (7) 対話形式や調べ学習を取り入れ、主体的・対話的な学びに配慮した「ADVANCE」を設けた。
- (8) 全編カラーユニバーサルデザインを採用したカラーページとした。また、UD フォントを用いて、学習要素やその関連性がより分かりやすくなるように工夫した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 原価計算の基礎 第1章 原価と原価計算 第2章 原価計算のあらまし 第3章 工業簿記－製造業における簿記－	(1) 原価と原価計算 ア 原価の概念 イ 原価計算の特色と仕組み	p. 7～46	2 5 5
第2編 原価の費目別計算 第4章 材料費の計算 第5章 労務費の計算 第6章 経費の計算	(2) 原価の費目別計算 ア 材料費の計算 イ 労務費の計算 ウ 経費の計算	p. 47～88	7 6 4
第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算 第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理	(3) 原価の部門別計算と製品別計算 ア 個別原価計算と製造間接費の計算 イ 部門別個別原価計算 ウ 総合原価計算	p. 89～184	12 9 9 5 4
第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社・工場間の取引	(4) 内部会計 ア 製品の完成と販売 イ 工場会計の独立 ウ 製造業の決算	p. 185～202	2 4
第5編 標準原価計算の基礎 第14章 標準原価計算（その1） 第15章 標準原価計算（その2）	(5) 標準原価計算 ア 標準原価計算の目的と手続 イ 原価差異の原因別分析	p. 203～236	3 5
第6編 直接原価計算の基礎 第16章 直接原価計算（その1） 第17章 直接原価計算（その2）	(6) 直接原価計算 ア 直接原価計算の目的と財務諸表の作成 イ 短期利益計画への活用	p. 237～253	3 4
記帳練習例題 第1例題 第2例題 第3例題		p. 254～255 p. 256～260 p. 261～264	4 7 5
		計	105

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-38	高等学校	商業	原価計算	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 720	原価計算		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
251～ 252	原価予測の方法	1	(6) 直接原価計算	2
253	損益分岐点比率と安全余裕率	1	(6) 直接原価計算	1
合計				3